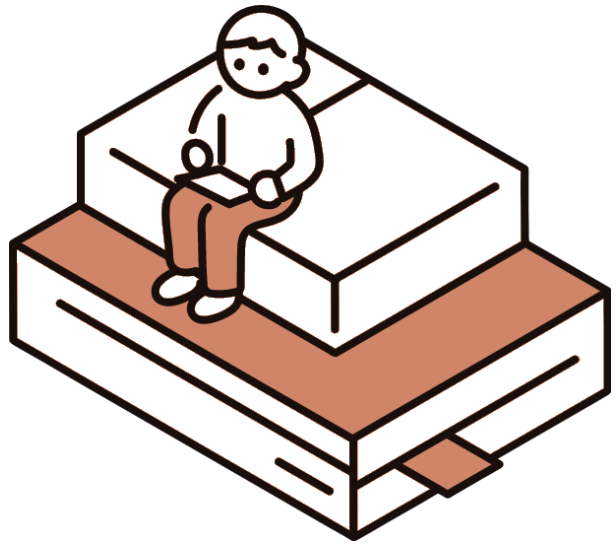
横浜市電子請求システム

二要素認証

操作マニュアル



Ver.1.00

改定日：Ver 1.00：2025/03/31

目次(リンク)

１．０　操作説明

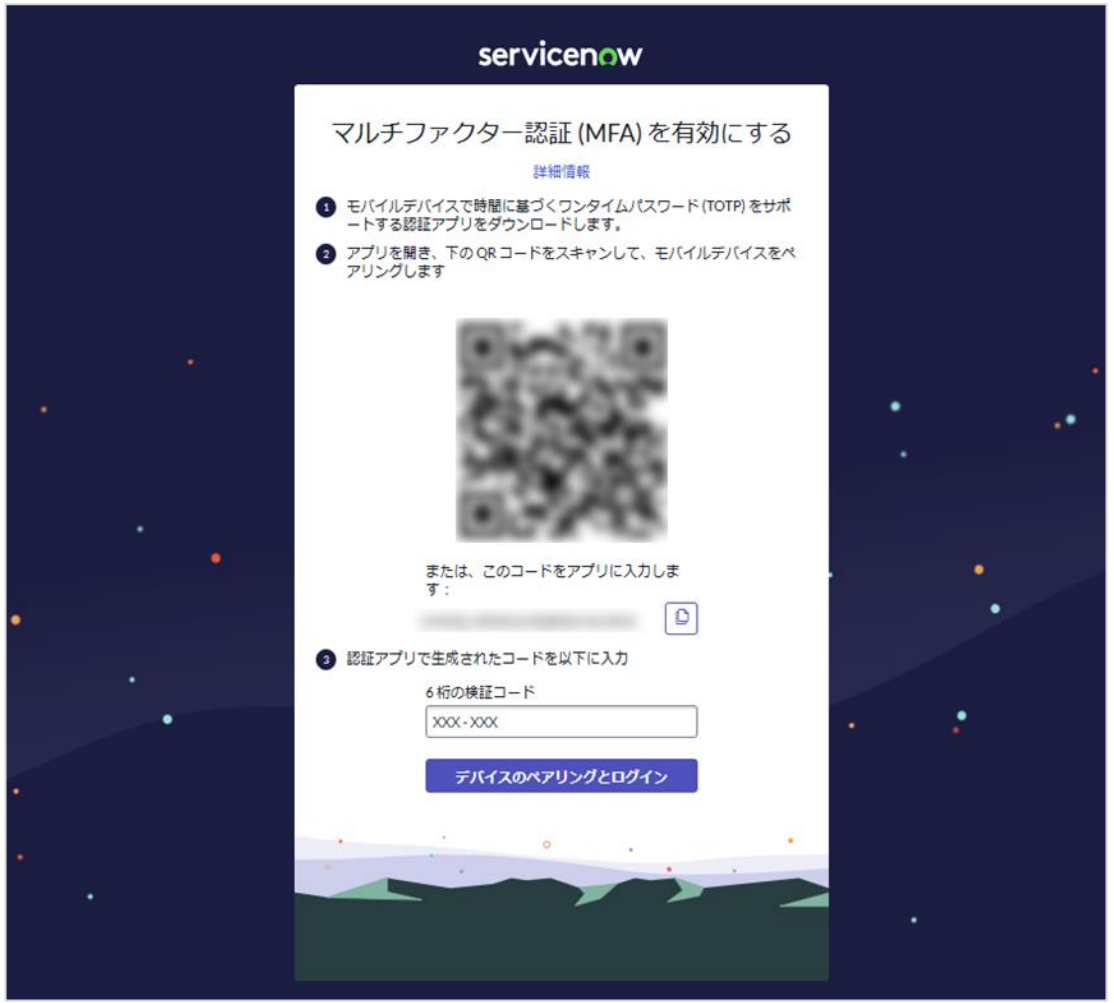
本書に掲載している画面イメージと実際の画面が異なる場合がございます。あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

1．1（操作説明）二要素認証の設定

戻る

電子請求システムのログイン時に適用される二要素認証の設定方法について説明します。

画面イメージ



説明欄

初めてログインする場合は、マルチファクター認証（二要素）の設定画面が表示されます。

モバイルデバイスの認証アプリ、またはPCブラウザの拡張機能を使用して、
ワンタイムパスワードを生成し、認証を行います。

アプリアイコン

当システムで動作確認をしている認証アプリは以下の通りです。

【PC版】
・Authenticator（：2FA Client）（for Google Authenticator）

【モバイル版】
・Google Authenticator

・Microsoft Authenticator

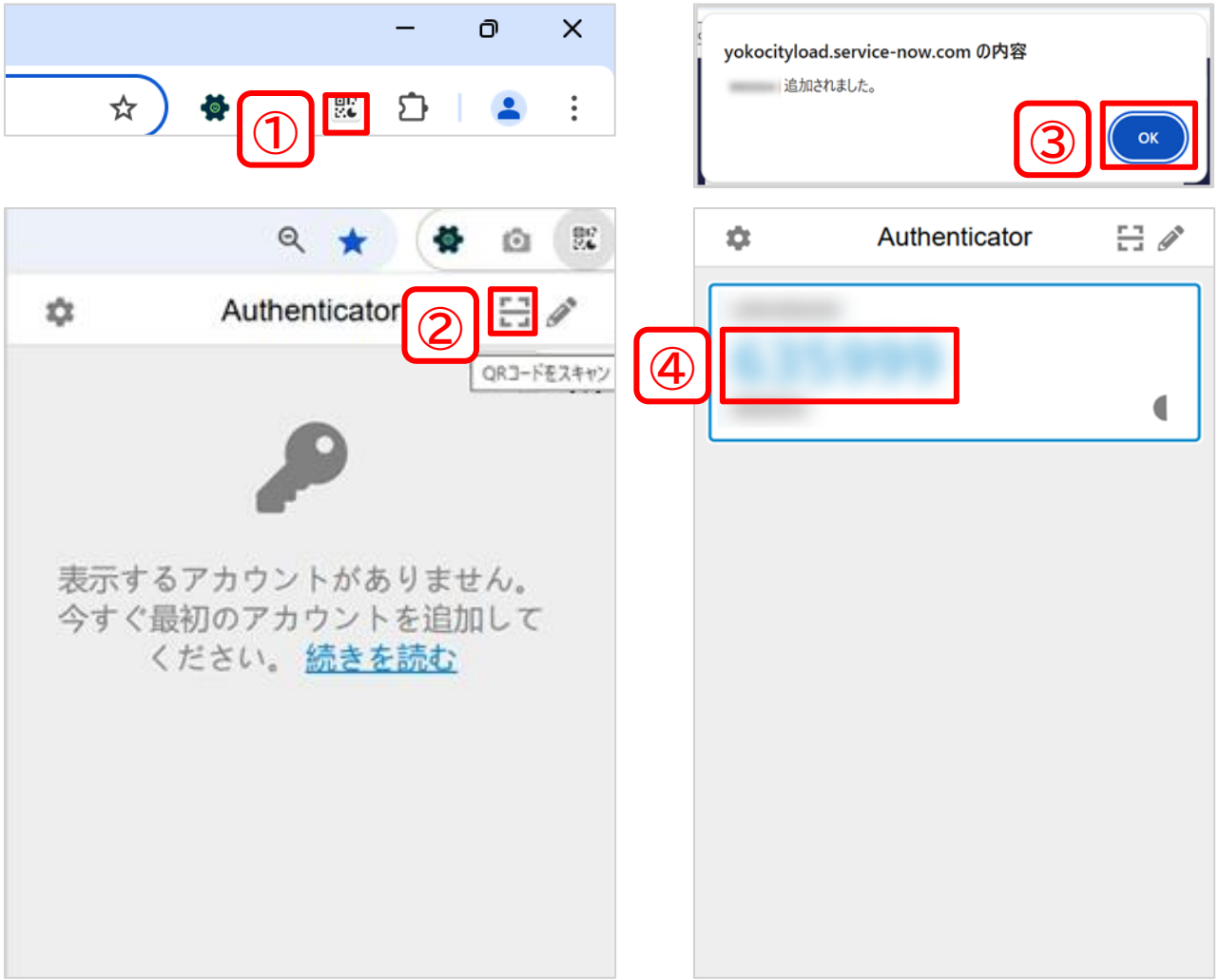
本書では、
モバイル（iOS）の認証アプリは「Microsoft Authenticator」、
PCのブラウザ（chrome）の拡張機能は「Authenticator（：2FA Client）」を使用して認証手順を説明します。

※注意事項
認証アプリに登録した情報は、再設定できません。
登録情報を削除すると、電子請求システムにログインできなくなりますのでご注意ください。登録情報を削除してしまった場合（又は、二要素認証が本書とおりに実施できない場合）は、ログイン画面の「パスワードを忘れた場合」からパスワード及び二要素認証の初期化を行ってください（改めて二要素認証の設定が必要になります）。

1．1（操作説明）二要素認証の設定（ＰＣ）

戻る

画面イメージ



説明欄

ご自身のPCのブラウザに、認証用の拡張機能をインストールします。

①ブラウザの拡張機能のアイコンをクリックします。

②『QRコードをスキャン』アイコンをクリックし、QRコードをスキャンします。

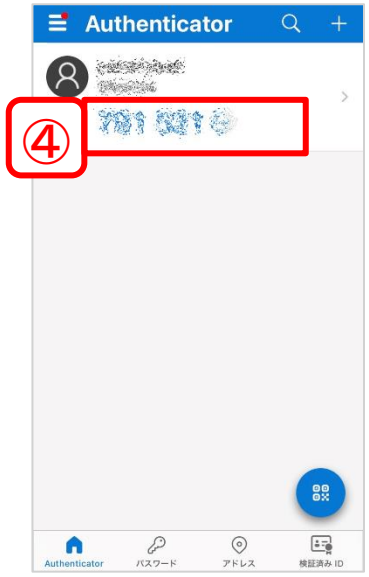
③『OK』をクリックします。

④コード6桁の認証コードが生成されていることを確認します。

1．1（操作説明）二要素認証の設定（モバイル）

戻る

画面イメージ



説明欄

ご自身のモバイルデバイスに、認証アプリをダウンロードして、アプリを開きます。

①『承諾する』をタップします。

②『QRコードをスキャンします』をタップします。

③『OK』をタップし、
QRコードをスキャン、または文字列コードを入力します。

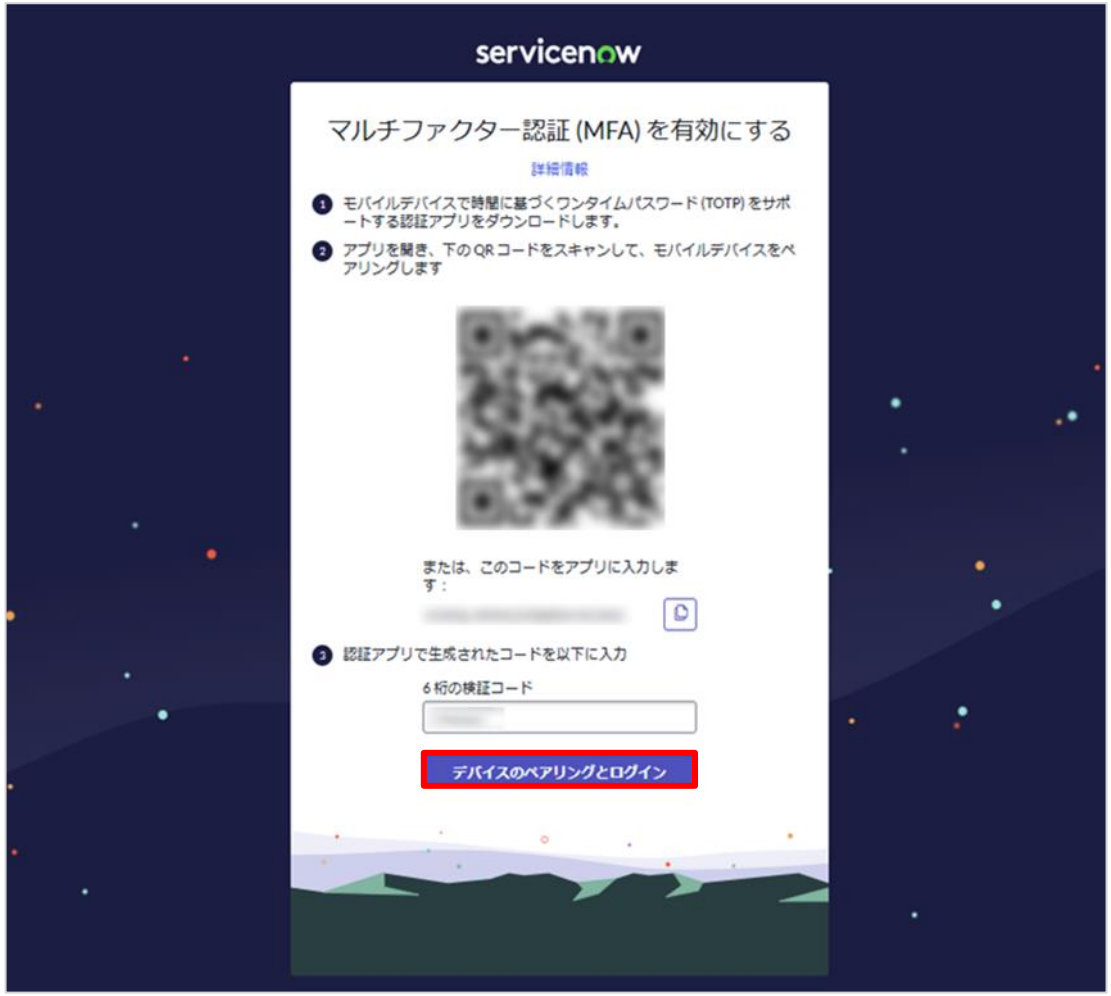
④Authenticatorタブで、
6桁の認証コードが生成されていることを確認します。

1．2（操作説明）二要素認証のログイン（初回）

戻る

二要素認証のログイン方法について説明します。

画面イメージ



説明欄

認証アプリ、またはブラウザ拡張機能で生成された6桁のコードを入力し、『デバイスのペアリングとログイン』をクリックします。

1．2（操作説明）二要素認証のログイン（２回目以降）

戻る

画面イメージ

①

②

説明欄

認証コードの取得方法を選択し、『Continue』をクリックします。
選択肢は、生体認証またはFIDO2セキュリティキーの設定状況によって異なります。

選択肢①（生体認証またはFIDO2セキュリティキーを設定していない場合）

・「認証アプリから検証コードを取得」を選択し、認証アプリを使用します。

・「以下に送信された検証コードを取得」を選択し、メール（※）を使用します。

※「事業者情報のE-mailアドレス」に登録されているアドレスになります。
「事業者情報のE-mailアドレス」は電子請求システムの項目名ですが、
電子入札システムに登録された「E-mailアドレス」が連携されています。

選択肢②（生体認証またはFIDO2セキュリティキーを設定している場合）

・「認証アプリから検証コードを取得」を選択し、認証アプリを使用します。

・「生体認証またはFIDO2セキュリティキーを使用」を選択し、
生体認証デバイスまたはハードウェアセキュリティキーを使用します。

1．2（操作説明）二要素認証のログイン（２回目以降）
選択肢①（生体認証またはFIDO2セキュリティキーを設定していない場合）

戻る

画面イメージ

説明欄

「認証アプリから認証コードを取得する」を選択した場合

認証アプリで生成された6桁のコードを入力し、『検証』をクリックします。

・「今後8時間、このブラウザのMFAを試さないでください」にチェックを入れてログインした場合、ログインしてから
「8時間以内であれば再ログイン時に二要素認証は不要」になります。
同じブラウザで短時間に何度もログインする場合などにご利用ください。

・「モバイル：生体認証またはFIDO2セキュリティキーを設定」をチェックを入れた場合、2回目以降のログイン時に、生体認証デバイスまたはハードウェアセキュリティキーを登録することができます。

「メールから認証コードを取得する」を選択した場合

登録されているメールアドレスに送信された6桁のコードを入力し、『検証』をクリックします。

1．2（操作説明）二要素認証のログイン（２回目以降）
選択肢②（生体認証またはFIDO2セキュリティキーを設定している場合）

戻る

画面イメージ

説明欄

生体認証またはFIDO2セキュリティキーで認証する場合

『生体認証またはFIDO2セキュリティキーを使用してログイン』をクリックし、ご自身で登録した方法で認証を行います。

以下のようなケースは認証アプリの移行が必要になります
・ 使用端末の変更時
・ 使用ブラウザの変更時 ※PCのみ

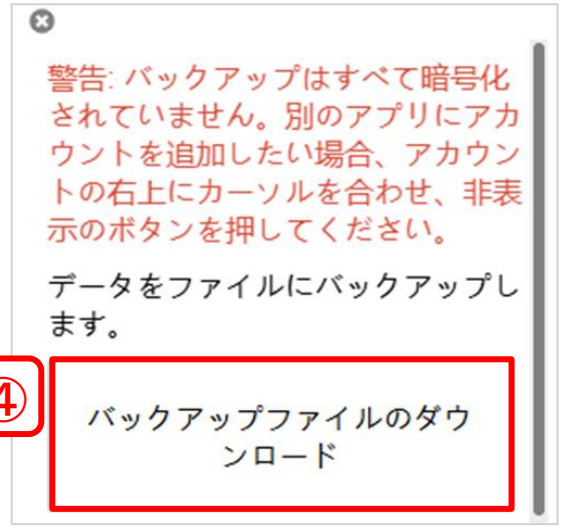
【移行方法】
PCをご利用の場合は「1.4. 認証情報の移行（PC）」をご覧ください。
モバイルをご利用の場合は「1.4. 認証情報の移行（モバイル）」をご覧ください。

以下のようなケースは認証情報の初期化が必要になります
・ 使用端末の紛失時
・ 使用端末を変更したが、変更前の端末が手元にない場合
・ 認証アプリに登録した情報を削除してしまった場合
など、お手元に今まで使用していた端末がない場合や、認証のバックアップを持っていない場合

【対処方法】
ログイン画面の「パスワードを忘れた場合」からパスワード及び二要素認証の初期化を行ってください（改めて二要素認証の設定が必要になります）。

二要素認証の設定で用いたデバイスを切り替える場合の認証情報の移行について説明します。

画面イメージ



説明欄

【移行手順】
手順①～⑤は、移行元の端末で操作します。

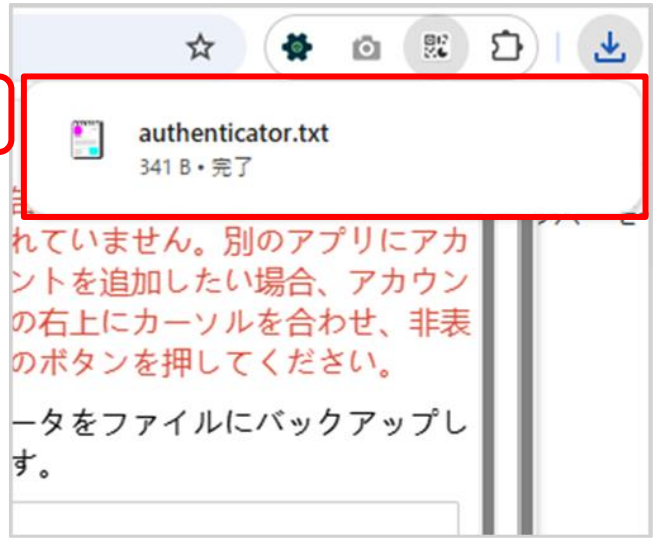
①ブラウザを起動して、『Authenticator』をアイコンをクリックします。

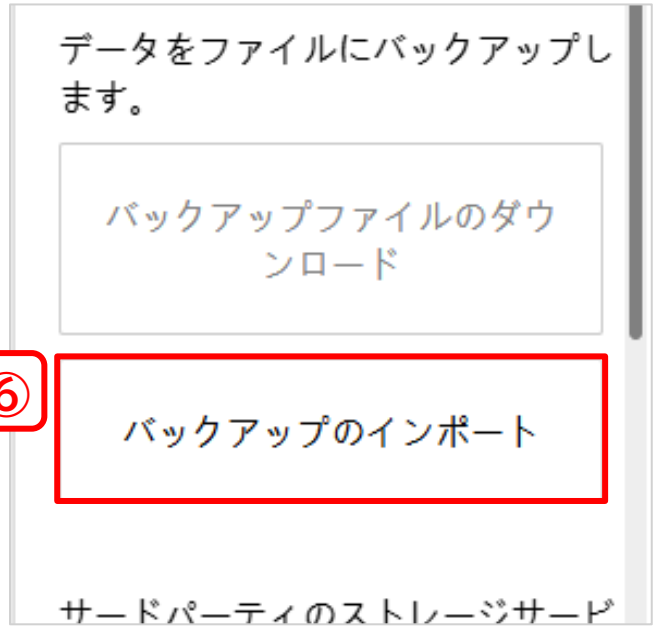
②『設定』アイコンをクリックします。

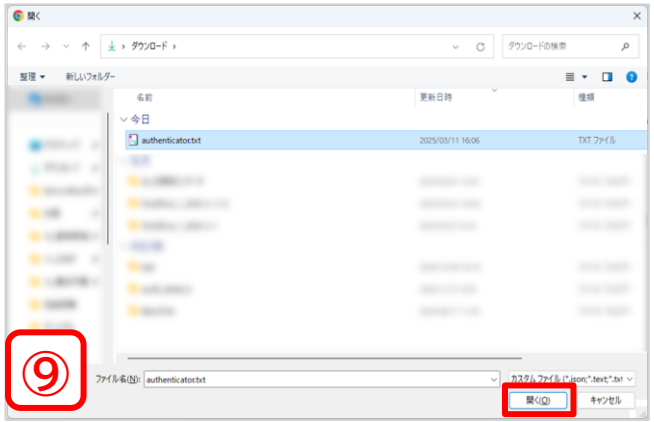
③『バックアップ』をクリックします。

④『バックアップファイルをダウンロード』をクリックします。

画面イメージ







説明欄

⑤バックアップファイルがダウンロードされます。

ダウンロードしたファイルは、手順⑥以降で使用します。移行先の端末で使用できるように保存しておきます。

手順⑥以降は、移行先の端末で操作します。

⑥手順①～③を行い、『バックアップのインポート』をクリックします。

⑦『バックアップファイルのインポート』をクリックします。

⑧『バックアップファイルのインポート』をクリックします。

⑨手順⑤でダウンロードしたファイルを選択して、『開く』をクリックします。

画面イメージ

説明欄

⑩『OK』をクリックします。

⑪Authenticatorを起動して、移行元の登録内容が反映されていることを確認します 。

⑫電子請求システムにログインして、二要素認証が問題なく行えることを確認します。

1．4（操作説明）認証情報の移行（モバイル）（1／4）

戻る

画面イメージ

説明欄

【事前確認】
モバイル端末の移行では、認証アプリに登録するアカウントが必要です。

【移行手順】
手順①～⑩は、移行元の端末の認証アプリで操作します。

①メニューアイコンをタップします。

②『設定』をタップします。

③バックアップ(※1)を有効にします。

(※1)端末のOSによって名称が異なります。
iOSの場合『iCloud バックアップ』
Androidの場合『クラウド バックアップ』

④『アカウントを追加』をタップします。

すでにアカウントを追加している場合は、
手順⑩に進みます。

1．4（操作説明）認証情報の移行（モバイル）（2／4）

戻る

画面イメージ

説明欄

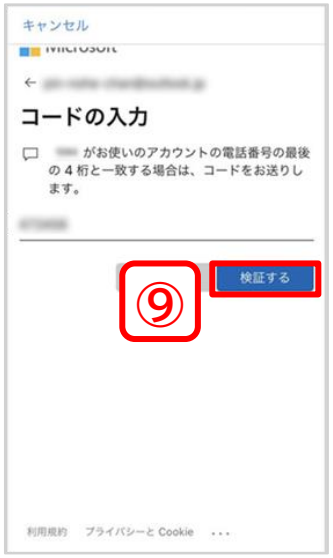
⑤アカウントIDを入力して、『次へ』をタップします。

⑥パスワードを入力して、『サインイン』をタップします。

⑦『xxx-xxxx-xxxxにSMSを送信』をタップします。

⑧電話番号の末尾4桁を入力して、『コードの送信』をタップします。

画面イメージ



説明欄

⑨送信されたコードを入力して、『検証する』をタップします。

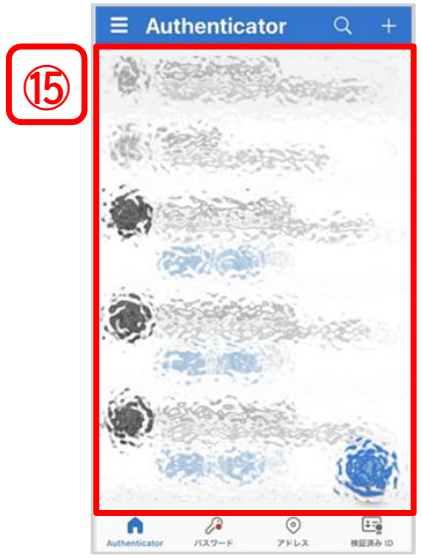
⑩バックアップが完了したことを確認して、『OK』をタップします。

手順⑪以降は、移行先の端末の認証アプリで操作します。

⑪『承諾する』をタップします。

⑫『バックアップから復元』をタップします。

画面イメージ



説明欄

⑬『OK』をタップします。

⑭手順③のバックアップ時に、サインインしたアカウントIDをタップします。

⑮移行元の登録内容が反映されていることを確認します 。

⑯電子請求システムにログインして、二要素認証が問題なく行えることを確認します。